

摂津市長 森山一正 様

橋下大阪市長、松井大阪府知事のオスプレイ訓練受入れ表明に関する要請書

2013年6月7日  
日本共産党摂津市議員団

昨日6日午前、日本維新の会共同代表の橋下徹大阪市長と幹事長の松井一郎大阪府知事が、安倍晋三首相らと会談し、沖縄県の米軍普天間飛行場に配備されている新型輸送機オスプレイの訓練の一部を大阪・八尾空港で受入れる意向を伝えました。

世界一危険な飛行機であるオスプレイ配備を、地元自治体に何の相談もない受入れ表明は地方自治を踏みにじる行為です。田中誠太八尾市長が事前説明のないことに遺憾の意を表明するとともに、市街地内にある八尾空港での受入れに反対の立場を明らかにしています。また八尾市議会の超党派23名の議員を始め近隣自治体からも抗議の声があがっています。

橋下氏や松井氏は、「沖縄の基地負担の軽減」を理由にしていますが、訓練の受け入れは、オスプレイの沖縄配備を前提にしたもので、オスプレイの配備撤回を求める沖縄県民の総意にも反するものです。同時に、沖縄の人たちの負担軽減を求める思いは「全国への危険分散」をさすものではありません。

森山一正市長におかれましては、大阪府市長会会長の立場からも、日本維新の会共同代表の橋下徹市長、幹事長の松井一郎大阪府知事のオスプレイ訓練受入れ表明に抗議をするとともに、その発言の撤回を強く申し入れていただきますよう要請します。